

施策評価シート

評価年度	平成24年度	事業実施年度	平成23年度	施策主管次長名	教育部次長 塚本 直樹
施策番号	59	施策名	生涯スポーツができ、健康で元気なまち		
関係課名	スポーツ課、教育行政課				

1. 施策の概要

施策の目的	対象	対象指標名	単位	H22実績	H23実績	H24計画	H25見込	H26見込	H27見込
				市民	人口	人	58,216	58,762	60,600
		15歳以上人口	人	46,915	47,577	49,200	49,900	51,000	52,100
意 図	日常的にスポーツをしてみよう			成果指標名	スポーツ施設利用回数				
					総合型地域スポーツクラブ登録者				
					学校開放施設利用回数				
					スポーツ実施率(週1回以上)				

2. 成果指標

指標	成果指標名	単位	H22実績	H23計画	H23実績	H24計画	H25見込	H26見込	H27見込
指標	スポーツ施設利用回数	回	6.23	6.7	6.66	6.70	6.70	6.70	6.70
	指標設定の考え方と把握方法	スポーツ施設利用回数は、スポーツ施設利用者数/人口で算出し、市民の運動頻度を把握するもので、施設は都市公園施設と社会体育施設をスポーツ課で三好他5地区コミュニティ広場は協働推進課で把握							
指標	総合型地域スポーツクラブ登録者	人	1,142	1,199	1,331	1,397	1,466	1,539	1,615
	指標設定の考え方と把握方法	総合型地域スポーツクラブ登録者数は、なかよし・みよしさんさんスポーツクラブのレクリエーションスポーツを主とした活動状況を把握するもので、その登録者数はスポーツ課で把握							
指標	学校開放施設利用回数	回	2.84	2.84	3.05	3.10	3.10	3.10	3.10
	指標設定の考え方と把握方法	学校開放施設利用回数は、学校開放施設利用者/人口で算出し、市民の学校施設での運動頻度を把握するもので、スポーツ課、学校教育課、教育行政課で把握							
指標	スポーツ実施率(週1回以上)	%	55.4	55.4	51.9	60.0	60.0	60.0	60.0
	指標設定の考え方と把握方法	スポーツ実施率(週1回以上)は、「スポーツ活動に関するアンケート調査」で把握し、市民の運動状況を把握するもので、スポーツ課で把握							

3. 施策の評価

項目	評価のコメント	
施策の効果向上に向けての市民と行政の役割分担	市民	スポーツは健康、競技、青少年健全育成、交流など多様な活動に活かされ、スポーツを生活の一部とすることで人生を豊かにし、生活の質の向上と健康でゆとりある生活を送る。
	行政	年代に応じたスポーツライフを充実させる施設の整備に努め、スポーツイベント・教室を開催し、スポーツ活動のきっかけの提供と仲間作り(コミュニティ)ができる組織・団体の育成を図る。
達成度評価	成果目標(指標計画値)と現状との比較	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設利用回数は、H23計画:6.70、H23実績:6.66回(前年比99.4%) 総合型地域スポーツクラブ登録者数は、H23計画:1,199人、H23実績:1,331人(前年比111.0%) 学校開放施設利用者回数は、H23計画:2.84回、H23実績:3.05回(107.4%) スポーツ実施率(週1回以上)は、H23計画:55.4%、H23実績:51.9%(前年比93.7%)と概ね達成
	近隣との比較	<ul style="list-style-type: none"> イベント数は、刈谷市:11事業、東郷町:5事業、みよし市:9事業 スポーツ教室の数は、刈谷市:11教室、東郷町:1教室、みよし市:9教室 総合型地域スポーツクラブの数は、刈谷市:6クラブ、東郷町:設立準備中、みよし市:2クラブ 学校開放施設数は、刈谷市:21施設、東郷町:13施設、みよし市:16施設
	過去3年間の実績との比較	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ施設の利用回数は、H21:6.06、H22:6.70、H23年度:6.66回と概ね増加傾向 総合型地域スポーツクラブ登録者数は、H21:1,014人、H22:1,142人、H23年度:1,331人と増加傾向 学校開放施設利用回数は、H21:2.62、H22:2.84、H23年度:3.05回と増加傾向 スポーツ実施率(週1回以上)は、H21:53.6%、H22:55.4%、H23年度:51.9%と50%超で推移傾向
【優先度評価】 成果向上の余地、市長マニフェストとの結びつき、緊急度など	市民のスポーツ実施率(週1回以上)はH23年度:51.9%であるが、20歳以上についてはH23年度:33.6%である。22年8月策定の国の「スポーツ立国戦略」では65%を成人の目標に定めており、現状では当市は遥かに下回っている。実施率の向上を図るためには将来に向かって飽和状態の施設環境の改善とともに市民ニーズに基づいた総合型スポーツクラブの更なる展開が必要である。	
【総合評価】 今後の方向性、課題解決のための事務事業の見直しなど	<ul style="list-style-type: none"> 大学と連携し、スポーツ振興普及と競技力向上を目指し指導者の指導力向上を図る。 出前教室・レクリエーションスポーツフェスタなどの生涯スポーツ振興事業の開催とともに、総合型地域スポーツクラブなどスポーツ団体への支援をし、市民へ気軽にスポーツに親しむ機会の提供を図る。 運動施設の適正な維持管理に努め、安全で快適なスポーツ施設環境の供用に努める。 	
市民意識	重要度	低い 満足度 高い 平成23年度市民アンケート調査による